

次号予告と今後のご案内

2017年7月号 vol.3 no.2

Feature Topic

がん診療のコスト原論

社会を巻き込み、一大トピックとなった免疫チェックポイント阻害薬の高額医療費問題。その背後には、「医療とコスト」という、臨床ではこれまでタブー視されていた存在がありました。医療の費用対効果測定の導入も、日本を含め各国で始まりつつあります。臨床家はこの問題に対し、どう考え、どう振る舞って行くべきか。そのための原論を考えます。

View-point がん診療

「卵巣・卵管・腹膜がん」

企画：勝俣範之（日本医科大学武蔵小杉病院 腫瘍内科）

薬物療法の適切な導入で、回復が見込まれる婦人科がん。しかしその臨床は未だ混沌とした様相があります。メディカルオネコロジストとして屈指のエキスパートが婦人科がん薬物療法の真髄を伝えます。

2017年10月号 vol.3 no.3

Feature Topic

最期の最後のがん診療

がん診療の最期の一ヶ月。多くの臨床家が体験してきた最期の最後のこのときに、患者と家族、そして医療者にはなにが起きていて、なにをしているのか？ 近年蓄積されつつある死亡と看取りのエビデンスを軸に、その実際を考えます。

View-point がん診療

「胃がん」 企画：馬場英司（九州大学病院 腫瘍内科）

罹患率、死亡率ともに低下しつつあると言われる胃がん。しかし、未だ13万人を超える患者が存在します。治療法の進化によって薬物療法の導入も進み、長期予後が認められるようになってきた本領域。近く、免疫療法もその視野に入ってきたとされています。胃がんの最新と現状についてエキスパートが解説します。

カンファレンス取材のお願い

あなたの施設のカンファレンスを『Cancer Board Square』に掲載しませんか？
本誌では、がんに関わるカンファレンスの取材先を募集しております。

- ・ Cancer Board
- ・ 診療科横断型のグランドカンファレンス
- ・ Death Conference
- ・ CPC
- ・ ナースによる振り返りカンファレンス
- ・ 若手の症例検討会

など、公開可能な活発なディスカッションの場がございましたら、編集室までぜひご連絡ください。

03-3817-5714（編集室直通）
cbs@igaku-shoin.co.jp

*これら特集テーマについては変更の可能性がありますことをご了承ください。